



## SUSAPVI 2018

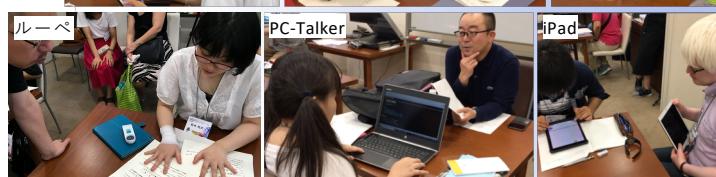
Uji. lab.

私たちの研究グループは、視覚障害のある高校生が、大学を知り、自身を知り、知識を身につけ、技術を身につけることで大学等の受験、入学、修学、就職を促すことを、目的とした「高大連携プログラム」の開発研究を行なっています。その一環として、2018年度は視覚障害高校生のためのスキルアップセミナーを、中野研究室（慶應義塾大学）との共催で慶應義塾大学を会場に3日間の日程で実施しました。

研究代表 氏間和仁（広島大学准教授）

## 大学を知る！

大学について、図書館、学食、大教室、掲示板などの施設、時間割、学生便覧、試験などの資料を中心に体験します。実際の大学を知ることで、今すべきことが明確になり、入学時の配慮要求がより具体的にできます。

知  
る

大学で要求される課題に、今持っているスキルを出し切って挑戦して評価

自分の見え方、補助具やデジタル機器の活用技術について実際に大学での授業を想定した課題に挑戦しながら、その到達度を知ります。この体験を通して、これからの準備が具体的になります、目標も明確になります。

## 自分を知る！

## 2019 告知! プレセミナー1 (教員対象)

視覚障害特別支援学校教員の高大連携セミナー 6月7日(金)

## プレセミナー2 (高校生対象)

視覚障害高校生のプレセミナー 7月20日(土)

## スキルアップセミナー (高校生対象)

視覚障害高校生のセミナー 2019年8月2日(金)

※高校生には過年度卒業生も含みます。～4日(日)

会場:慶應義塾大学(日吉キャンパス) / 申込は2019年2月1日から  
経費:受講料は無料、交通費・宿泊費・食費などは自己負担

本研究は、日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(B)「視覚障害者の円滑な大学進学を目指した高大連携システムの開発と評価」(課題番号18H01040) (研究代表:氏間和仁) の補助を受けて実施されています。

## 技術を身につける！

大学や就職、日常生活にとってデジタル機器を使いこなせる技術を身につけておくことは、視覚障害者にとって必須です。自身を知った上で、専門家から直接、機器の選定のアドバイスや効果的な使用方法を学びます。



センター准教授による直接講義、実際の拡大や点字問題、解答用紙を用いた演習

大学受験や入学時の配慮要求を行うためには、試験やそこに用意されている配慮の内容、大学での学生支援の仕組みなどに関する知識や、合理的配慮・配慮要求などの知識、交渉するための建設的対話スキルが必要です。各専門家からそれらの知識について演習を交えて学びます。

## 知識を身につける！

## 研究グループ

氏間和仁 (広島大学)	研究代表
中野泰志 (慶應義塾大学)	
永井伸幸 (宮城教育大学)	
田中良広 (帝京平成大学)	
竹林地毅 (広島大学)	
韓 星民 (福岡教育大学)	
相羽大輔 (愛知教育大学)	
大島研介 (神奈川大学)	

